

記者発表資料

全国初のETC2.0可搬型路側機を鎌倉に設置します ～エリア観光渋滞対策に向けデータ取得を開始～

国土交通省では、ICT・AI等の革新的な技術を活用し、警察や観光部局とも連携しながら、エリアプライシングを含む交通需要制御などのエリア観光渋滞対策に取り組んでいくこととしています。

平成29年9月には、その実験実施地域として鎌倉市を選定し、有識者や地元関係者等とともに、既存のETC2.0等を活用した広域的な渋滞発生状況の分析に着手したところです。

このたび、鎌倉市の若宮大路において、全国で初めてETC2.0可搬型路側機を設置します。これにより、エリアプライシングを含む鎌倉エリアの観光渋滞対策の検討を進める上で必要となる

- ・ 地域内における詳細な車の流動（位置、速度、急ブレーキ、経路等のプローブ情報）
- ・ 鎌倉市内に流入する車両のETC車載器の搭載車数

のデータを機動的に収集することが可能となります。

■ 鎌倉市内への機器設置について（設置概要）

- 運用開始 : 平成30年3月30日開始予定
設置箇所 : 神奈川県鎌倉市由比ガ浜2丁目（別添図のとおり）
設置機器 : ETC2.0可搬型路側機 1基

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、神奈川県政記者クラブ、
横浜ラジオ・テレビ記者会、鎌倉市広報メディアセンター

問い合わせ先

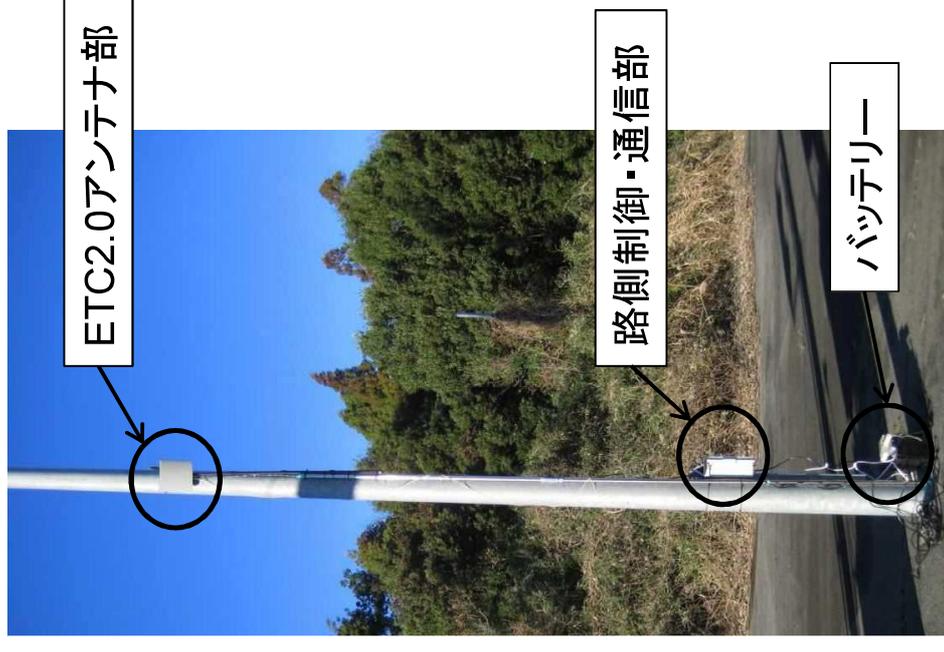
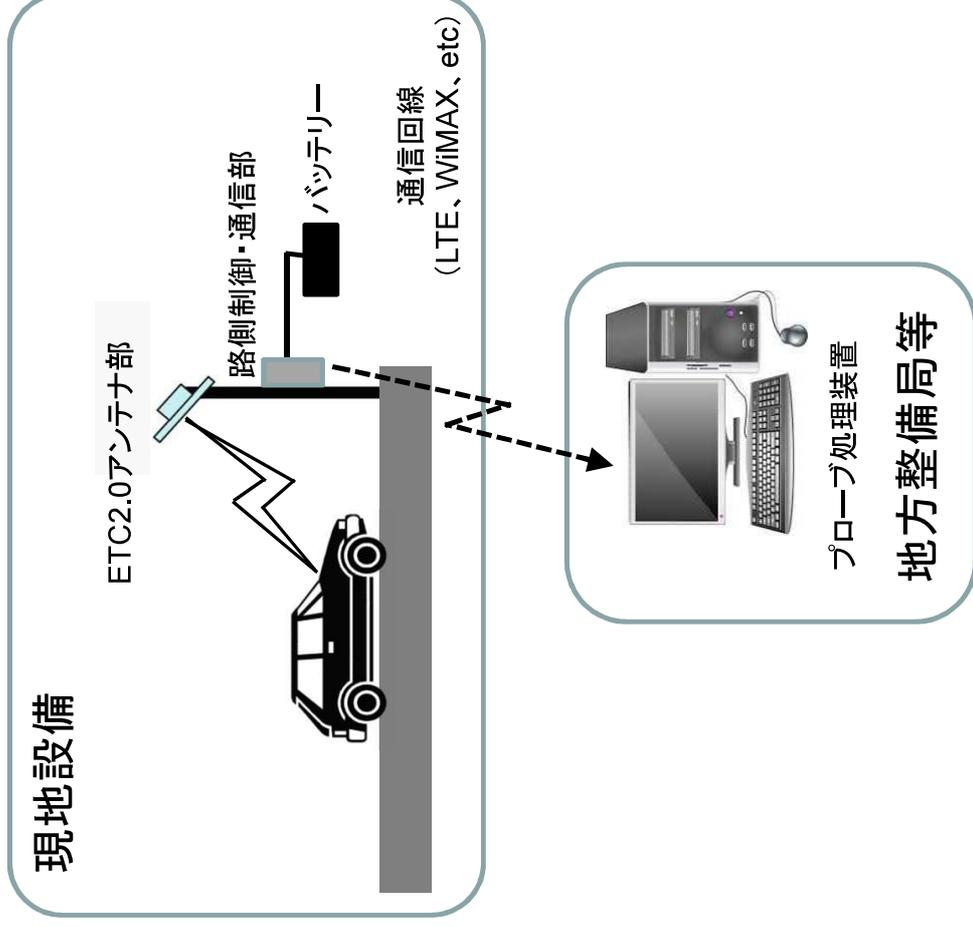
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

電話 045-316-3537

副所長 いがらし 五十嵐 かすお 一夫 調査課 建設専門官 かじわら 梶原 ちえみ

ETC2.0可搬型路側機について

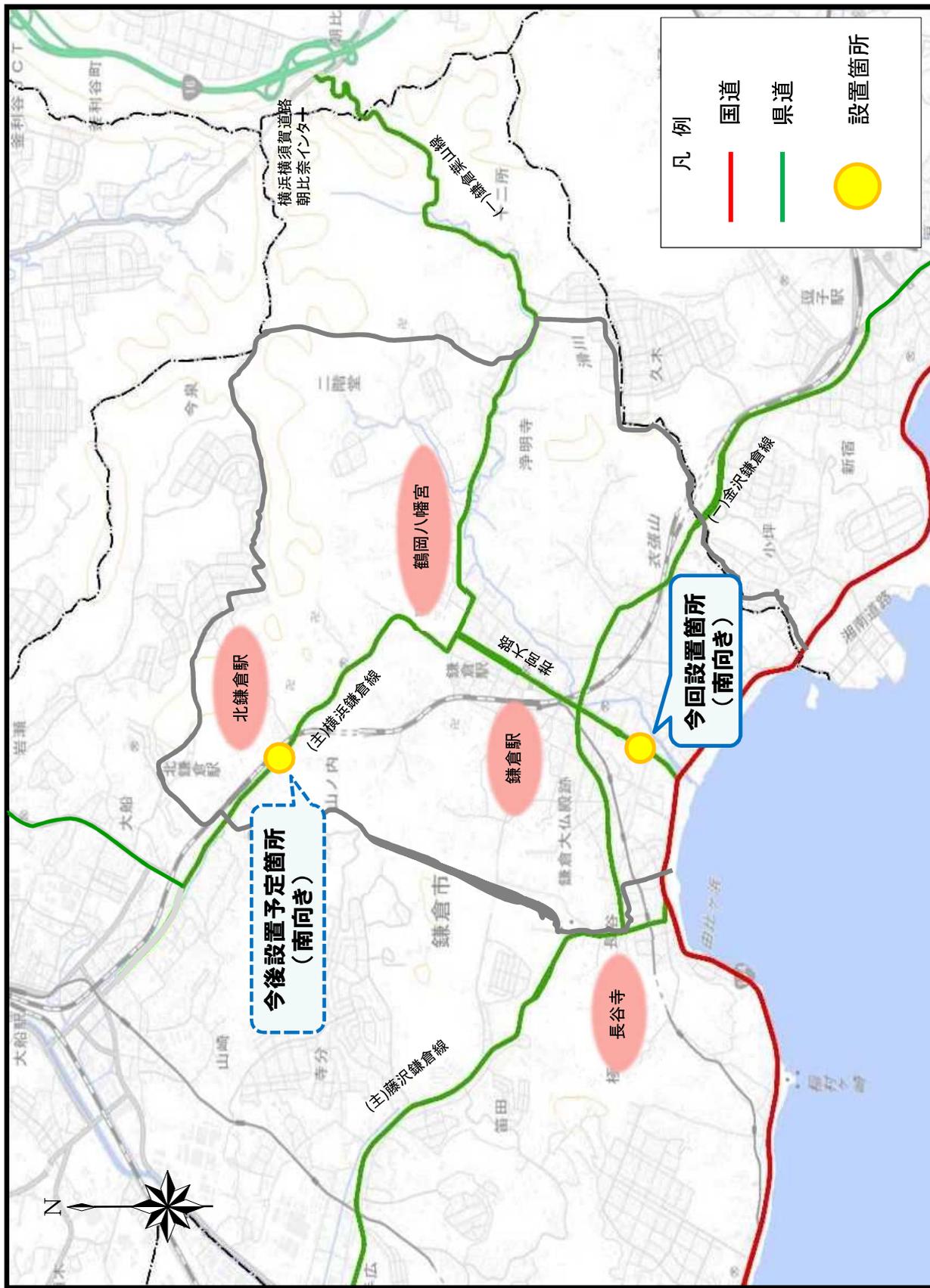
- 既存支柱に簡単に設置・撤去が可能であり、一定期間の調査に最適
- ETC2.0車載器のプロローブ情報に加え、ETC車載器の情報も収集可能※



＜設置イメージ＞

※ ETC車載器の情報収集とETC2.0車載器の情報収集の機能を切り替えることが可能

ETC2.0可搬型路側機の設置位置



(参考) ICT・AIを活用した観光渋滞対策

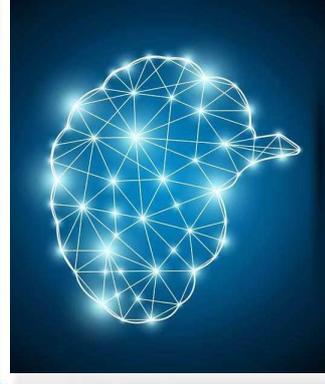
- 観光地周辺で広域的に発生する渋滞を解消し、回遊性が高く、円滑な移動が可能な魅力ある観光地を創造するため、ICT・AI等の革新的な技術を活用し、警察や観光部局とも連携しながら、エリアプライシングを含む交通需要制御などのエリア観光渋滞対策の実験・実装を推進・支援。

革新的な技術



ICT

- ETC2.0、高度化光ビーコン、AIカメラ等で人や車の動きを収集
- AIの分析・予測結果に基づき人や車の流れを最適化



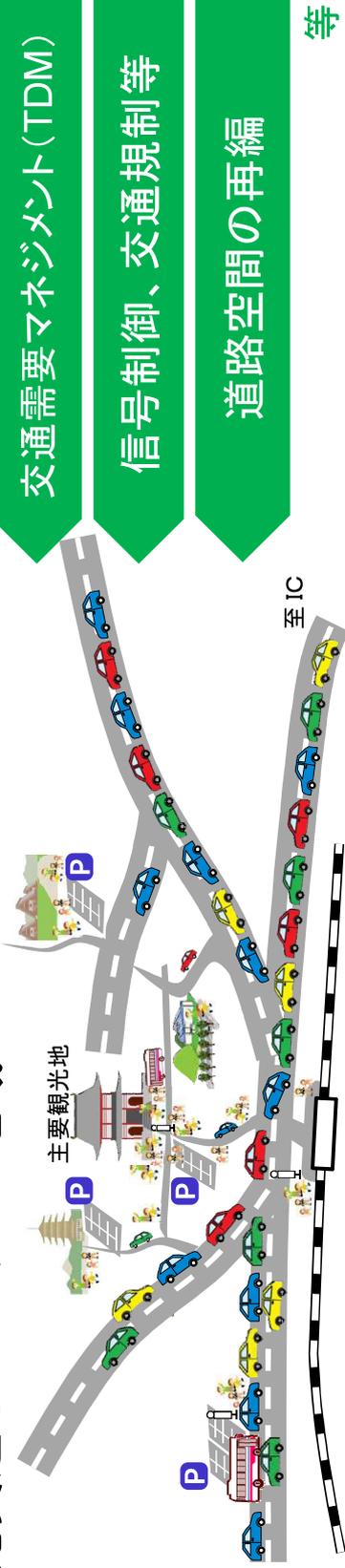
AI

- 過去の渋滞発生履歴をAIが学習・分析
- 交通の変化をAIが判断し渋滞発生を予測

ビッグデータ(観光客・車・公共交通等)



観光交通インベーション地域



(参考) スケジュール

